

第16回(令和5年) 定時社員総会

令和5年5月24日に学士会館にて、理事・監事会、第16回定時社員総会が出席50社、委任状提出36社、総計86名/103社で開催されました。

第16回定時社員総会

《野崎正和代表理事 挨拶》



コロナが第5類になって 経済もだいぶ動き出しましたが、まだまだウクライナとロシアとの戦争で物価の高騰が非常に影響し、建設業界も影響を受けており、早く終わってほしいと切に願っております。

建設業界においては、日建連と国交省、各地整とで意見交換を行っております。新聞で盛んに 2024年問題、就業時間の問題が取り上げられていますが、今度は罰則付きで指導票では済まされないような状況になります。しかし、今まで時間と日数で稼いできたトンネル屋の文化からの切り替えはなかなか難しい課題です。

積算も我々が一生懸命努力したのが歩掛に持っていかれ、年々厳しくなってます。それらのことも国土交通省と意見交換会を行って改善していきたいと思えます。先月、スーパーゼネコンの4社と意見交換を行いました。ゼネコンと意見交換を行うのは初めての事です。積算基準を変えてもらわなければ工程も確保できず、今のままなら企業としても成り立たず、専門業者としての存在の危うさを訴えました。坑夫、トンネルの技能者が人手不足だということは非常に深刻な問題になってくると思えます。トンネル業界に目を向けてもらい、担い手が業界に入ってくるには働きやすい環境と賃金が課題になるわけです。そのためにもゼネコンも一緒に、発注者に向けて 声を大にして改革して改善していきたいと思っております。

《新任理事挨拶 宮越征一(古河ロックドリル㈱)》

めまぐるしく過ぎ去った平成時代も終わりまして、新しい令和という未知の時代が訪れました。平成の時代がそうでありました以上に令和も又、様々なことが平成以上のスピードでめまぐるしく移り変わっていくのは必至かと思えます。新しい時代の中で当協会のすべてにおいて、待ったなしの対応に迫られる時代が訪れたことを強く感じますし、我々トンネル専門工事業協会も新たなスタートラインに立たされているのではないのでしょうか。安全の確保、働き方改革に伴って生じる諸問題等々を抱えている厳しい情勢の中にあって今後の会員間における情報の交換や、相互研鑽というものがこれからの我々にとって、重要な生き抜くヒントになっていくと確信しております。

表彰(敬称略)

1. 感謝状

8年もの長期にわたり当協会の理事を務められ、当協会の円滑な運営に寄与された阿部裕之氏(古河機械金属㈱)に感謝状と記念品が授与されました。

2. 表彰状

当協会の推薦により国土交通大臣優秀施工者(建設マスター)、土地・建設産業局長青年優秀施工者(ジュニア建設マスター)及び厚生労働大臣安全優良職長顕彰を受けられた方4名に表彰状と記念品が授与されました。

《優秀施工者国土交通大臣顕彰》
山口博文氏(株式会社児玉組)
川原 清氏(吉岡建設株式会社)

《職長厚生労働大臣顕彰》
野口 壮氏(成豊建設株式会社)

《青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰》
川井田信也氏(株式会社興和建設)



国土交通省 大臣官房 技術審議官 佐藤 様



2024問題に対しては、土木関係の専門職種の中では、恐らくトンネル業界の対応が一番難しいのではと改めて認識しております。我々も皆さまのご意見を聞きながら、積算上、歩掛上、対応出来ることはしっかりと対応させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。最近の公共事業をめぐる動きの中で一番大きなことは、やはり国土強靱化予算です。国土強靱化予算の基本計画、ビジョン作りを政府としてやらせていただいております。それと、国土強靱化の過疎化対策、いわゆる根拠がない計画であり、法律に基づいた計画ではなく、議員立法で与野党の先生方が一緒になって法律に位置付けるということ色々と調整をいただいている最中です。ビジョンに加えてフレームワークの方法、調整というか整備が進みつつあります。最後に残っていますのは予算の高さの問題です。労務単価は上げているものの、事業は目減りしつつあります。この予算の高さをどうするかというのが、大きな問題になりますので、またぜひ皆様のご支援をいただきながら取り組んでいきたいと思っております。

一般財団法人 建設業振興基金 理事 建設キャリアアップシステム事業本部長 長谷川 様



私どもは行政と民間企業の間立ち、双方の架け橋として様々な業務をやらせていただいております。私が直接担当しているのは登録システムで、おかげさまで116万人の技能者さん、トンネル関係では8000人ぐらいの方に登録いただき、就業履歴もたくさん蓄積していただいております。この数字は他の職種に比べても、かなりの活用状況だと思います。この数字は皆様のご理解ご協力のおかげでございますが、我々としてもそのCCUS自体が自己目的化しなければならないと思っております。そのデータを使って技能者の処遇や職人さんの質をあげていく、そうやって職人さんをしっかり育てている企業はしっかり伸びていく、単価を上げているという判断につなげていく。さらには安全な施工につながるし、そこで働いたということも後日きちんと証明できる等、様々な機能がキャリアアップシステムには期待できます。蓄積したデータを皆さんに有意義にご活用頂けるように頑張っていきたいと思っております。

一般社団法人 日本建設業連合会 安全委員長 乗京 様



安全面につきましては、皆さんの現場はレベルの高い安全管理されていると感じておりますし、可能なものは水平展開して、さらに事故が起らないように工夫していきたいと考えております。衛生面では、粉じん障害防止対策で、また秋に現場を見せてもらうかもしれませんが、昨年行った時には、トンネル現場はこんなにクリアなのだと感動しました。また、会長もおっしゃっていたように安全面は当然のことながら、ゼネコンの立場として皆さんと一緒に、様々な積算上や歩掛の問題 働き方改革などに一緒になって取り組んでいきたいと思っております。

新春セミナー、賀詞交歓会

1月31日に学士会館にて新春セミナー、賀詞交換会が行われました。

行政講演は国土交通省 不動産・建設経済局 建設市場整備課 専門工事業・建設関連業振興室長 坂井志保 様より「建設行政をめぐる最近の話題」について講演を行っていただきました。

賀詞交換会の来賓ご挨拶は、国土交通省 大臣官房 技術審議官 佐藤様、一般財団法人 建設業振興基金 理事長 谷脇様、一般社団法人 日本建設業連合会 安全委員長 乗京様よりいただきました。



第12回海外視察研修会

3月5～7日にフィリピンでダバオバイパス I-1工区建設工事視察を主とした海外視察研修会が開催されました。基本的に2年に1回開催しております海外視察研修会ですが、コロナ禍により中止を余儀なくされ、今回3年振りに開催されました。

フィリピンは、東南アジア諸国の中で日本から最も近く、同国の持続的発展は日本や東南アジア地域の安定と発展に欠かせないことから、同国にとって日本が最大のODA供与国となっています。その様な状況下で、清水建設JVがフィリピン公共事業道路省から受注したダバオバイパス建設事業は、ミンダナオ島の交通渋滞緩和、経済・社会発展を目的に計画された全長約30kmのバイパス道路のうち、同バイパスの中央部分に当たる全長10.7kmの区間を施工するものです。そして、この区間には高さ8m、幅10m、掘削断面約80㎡、長さ2.3kmのトンネル2本が含まれており、工事の進捗状況は目下最盛期を迎えているとのこと、今回の視察研修は大変有意義なものでした。

参加者の方々から「ダバオトンネルの現場が思った以上によく管理されており、今後日本でもより多くの外国人労働者を雇用してゆくことを考える上で大変参考になる現場だと思う。」「海外の現場ということで、国内とは違い乱雑な現場を想像していたが、国内の現場同様きれいな現場で驚いた。」等の感想をいただきました。



《工事概要》

工事名:ダバオバイパスI-1工区建設工事

発注者:フィリピン公共事業道路省

施工者:清水-ULTICON-竹中土木JV

工事場所:ダバオ市南部シワハラ～中央部インダンカ

工期:着工(2020年12月)～37ヶ月



合同現場安全パトロール

6月16日に高知県の窪川佐賀道路平串トンネル工事にて第1回合同現場安全パトロールが行われました。安全通路、資材の区画はカラーコーン、コーンバーで区画され、作業場所の立入状況は良好でした。坑内駐車中のトラック、トラミキ等前輪を切っており逸走防止がされていました。LEDチューブライトで明示がされており、現場も明るかったです。朝礼時も指示事項が全員に伝わっており、よく管理されている現場でした。



工事概要

発注者：国土交通省 四国地方整備局
中村河川国道事務所
元 請：戸田建設株式会社 四国支店
施 工：成豊建設株式会社 九州本店
工 期：令和3年7月～令和5年12月
延 長：1,337.0m
工 法：NATM、発破掘削、タイヤ方式

ずい道等の作業主任者技能講習

- 2月3・4日に「ずい道等の覆工等作業主任者技能講習」を開催し、4名の方々が修了されました。
- 3月3・4日に「ずい道等の掘削(シールド)等作業主任者技能講習」を開催し、8名の方々が修了されました。
- 4月21日に「ずい道等の覆工作業主任者技能講習特例講習」を開催し、16名の方々が修了されました。
- 6月23・24日に「ずい道等の掘削等作業主任者技能講習」を開催し、14名の方々が修了されました。
- 8月4・5日に「ずい道等の覆工作業主任者技能講習講習」を開催し、8名の方々が修了されました。

登録トンネル基幹技能者講習

- 7月13～15日に富士教育訓練センターにて登録トンネル基幹技能者講習が開催されました。
- 7月24日に行われた登録基幹技能者育成委員会(外部委員2名を含む)による審査の結果、9名の修了が承認されました。累計修了者は793名になりました。
- 6月に更新講習が行われ、87名の資格有効期限が更新されました。

協会からのお知らせ

【今後の予定】

- | | |
|---------------|------------------------|
| 2023/10/13～14 | 現場見学・研修会 (釜利谷庄戸トンネル工事) |
| 2023/11/09～12 | 令和5年度第2回登録トンネル基幹技能者講習 |
| 2024/01/30 | 新春セミナー、賀詞交歓会 |

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors
日本トンネル専門工事業協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階
TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL : <http://www.tunnel.jp>